

令和3年度 第1回五軒市民センター運営審議会

◇日時 令和3年6月23日（水） 午前10時から
◇場所 五軒市民センター 1階101会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 令和2年度五軒市民センター事業報告について
 - (2) 令和3年五軒市民センター運営方針及び重点目標について
 - (3) 令和3年度五軒市民センター事業計画（案）について
 - (4) その他
- 4 閉 会

水戸市五軒市民センター運営審議会委員名簿

(任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日)

		氏 名	団体等名及び役職名
1	会 長	金 成 滋	ふあいぶたうんコミュニティ 会長
2	副会長	川又 哲男	ふあいぶたうんコミュニティ 副会長
3	委 員	市毛 則之	第二中学校PTA副会長
4	委 員	橘川 幸子	五軒女性会役員
5	委 員	北澤 安芸	ふあいぶたうんコミュニティ 役員
6	委 員	田口 廣巳	五軒小学校校長

水戸市五軒市民センター 職員名簿

職 名	氏 名
所 長	木村 清美
主 幹	谷津 宗一郎
会計年度任用職員	菌部 篤生
会計年度任用職員	桑名 千和
会計年度任用職員	加藤 幹子
会計年度任用職員	一澤 裕美

(1) 令和2年度五軒市民センター事業報告

①定期講座

クラブ（自主運営）

講座名	講師	人数	開催日	回数	開講日
茶道	藤田 宗邦 (裏千家)	8	第1・3火	—	休止
健康とヨガ	谷中 碧	14	第1・3火	18	6月2日
やさしい囲碁	高野 惣一	23	第1・2・3火	25	7月7日
写真くらぶ	橋本 實	16	第3水	8	6月17日
ベイシックダンス	鳥羽 桂子	12	第1・3水	10	7月1日
MIX ビクス	榎田 かほり	10	第1・3木	14	7月2日
楽しいカラオケA	上杉 京子	11	第1・3木	12	7月2日
実践ボールペン字	高荷 秀麗	12	第2・4木	14	6月11日
楽しいカラオケB	上杉 京子	10	第2・4木	12	7月23日
絵手紙	平戸 昌子	5	第1・3金	—	休止
中高年のビューティー ストレッチ	ム ツ コ	12	第2・4金	19	6月12日
How To カラオケ	上杉 京子	18	第2・4金	13	7月10日
五軒歩こう会	講師なし	46	第4日	7	9月27日

②家庭教育関係

講座名	回数	開催日	内容	講師	参加人数
家庭教育学級	1	1月28日	家庭教育講演会		中止

③青少年関係

講座名	回数	開催日	内容	講師	参加人数
水戸郷土かるた五軒地区大会	1		水戸郷土かるた地区大会		中止

④女性教養関係

講座名	回数	開催日	内容	講師	参加人数
五軒地区 女性教養講座	4	7月15日	開講式 いきいき出前講座 ～新時代の片付け術～	消費生活センター 緒方瑠美子	26
		9月16日	デコパージュ教室	山崎 由紀	16
		10月21日	講話「源氏物語 女人絵巻 弐」	坂本 京子	20
		11月9日	手芸教室 閉講式	潮田 洋子	19

⑤高齢者関係

講座名	回数	開催日	内容	講師	参加人数
五軒いきいき大学	4	7月22日	開講式 らくらく健幸運動教室	NPO 法人 ちいきの学校 鈴木 直昭	36
		9月30日	勾玉づくり	埋蔵文化財 センター職員	中止
		10月28日	移動学習		中止
		11月18日	講話「名字の謎を解く！ 名字の歴史と由来」 閉講式	高信 幸男	25

⑥市民センターまつり関係

講座名	回数	開催日	内容	講師	参加人数
わいわい五軒文化祭	1	11月18日	作品展示・芸能発表		中止

【参考】関連事業

事業名	開催日	主管	参加人数
三世代 ふれあいスポーツ大会	6月7日	地区スポレク部会	中止
五軒地区サマーナイト コンサート&ふれあいまつり	7月11日	地区生涯学習部会	中止
五軒地区市民運動会	10月11日	地区スポレク部会	中止
水戸黄門漫遊マラソン応援	10月25日	地区スポレク部会	中止
五軒地区年末クリーン作戦	12月12日	地区生活環境部会	各町内会
流しびな作り	2月6日	五軒女性会役員	中止
五軒香梅ひな流し	3月6日	地区生涯学習部会	中止

(2) 令和3年度水戸市五軒市民センター運営方針及び重点目標

運 営 方 針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられるまちを形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。

市民センターにおいては、コロナ禍における感染症対策を徹底したうえで、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努め、さらには、東日本大震災や令和元年東日本台風での経験を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

重 点 目 標

1 地域コミュニティ活動の推進

(1) 地域コミュニティ活動の活性化

ア 地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう、地域コミュニティプラン実現に向けた取組への支援を促進し、住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動を推進する。

イ 各種コミュニティ団体等の活動を支援するとともに、NPO等との連携を促進しながら、よりよい地域づくりに向けた情報の共有化を進めるなど、地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化を図る。

ウ 町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため、地域団体や関係機関と連携強化を図り、地域コミュニティ活動内容を積極的に発信するとともに、地区会の基盤である町内会・自治会の加入率の向上に努める。

エ 市民自らが意欲を持って地域活動に参加できるよう、一人一役運動を進めるほか、人材育成のための研修会を通して、地域を支えるリーダーづくりを推進する。

(2) 地域コミュニティ活動環境の充実

市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等にあわせたコミュニティルームの積極的な利用を促進するとともに、長寿命化型改修の実施及び施設の利用者数や周辺の状況等を踏まえつつ狭あい駐車場の解消に努める。

(3) 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであることから、平常時より、地域での防災訓練への支援、地域における災害リスクや連絡体制の確認を行うなど、地域における防災組織との連携を図る。

2 生涯学習活動の推進

(1) 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては、どのような状況下でも学びを止めることなく、「個人の要望」する学習による生きがいを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子・高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた現代的課題を取り扱った学習機会を提供する。

そのため、水戸市における生涯学習事業を総称した「みと弘道館大学」に位置付けた、一般教養講座や定期講座を開催するとともに、みと好文カレッジにおける事業を活用しながら、市民のライフスタイルに定着し、生涯にわたって学び続けることができるよう、学習機会の充実に努める。

ア 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

イ 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくため、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。

また、事業実践集等を活用し、地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開する。

ウ 家庭教育学級（ふれあい学級）等の開催

家庭は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割があることから、家庭教育について考える機会を提供するため、家庭教育学級を開催するほか、未就園児の保護者が家庭教育について学び、各家庭が家庭教育に自主的に取り組むことができるよう支援するため、家庭教育強化事業を実施する。

(2) 学習の成果を生かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに生かせるよう、地域人材の発掘・育成を行い、地域の活性化や特色あるまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

ア 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用を推進する。

イ 学習の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、生涯学習の成果を発表する場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

ウ 学習の成果を地域活動に生かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に生かすことが、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につながるよう、人材の育成と活用に努める。

エ 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で生涯学習の成果をどのように生かし、また、地域の中でどれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業について自己評価を行うとともに、自己評価をもとに、運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営を図る。

(3) 家庭・地域・学校の連携の強化

家庭・地域・学校が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組めるシステムを構築し、地域社会全体の教育力の向上を図る。

市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能充実に努める。

ア 次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む

家庭・地域・学校が相互に連携を図りながら、様々な形で異年齢集団での交流や大人と接する事業など、子どもたちが直接体験する場を提供し、社会全体で次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

イ 社会全体で支える家庭教育

子どもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭の教育力の向上だけでなく、家庭・地域・学校が一体となって子どもたちの成長を温かく見守りながら、家庭教育を社会全体で支える仕組みづくりに努める

(3) 令和3年度 五軒市民センター事業計画 (案)

① 定期講座

☆クラブ (自主運営)

講座名	講師	開催日	継続 人数	募集 人数	開講日
五軒茶道	藤田 宗邦 (裏千家)	第1・3火	8	3	9月
健康とヨガ	谷中 碧	第1・3火	14	2	5月11日
やさしい囲碁	高野 惣一	第1・2・3火	25	5	5月11日
写真くらぶ	橋本 實	第3水	17	4	5月19日
五軒社交ダンス教室	鳥羽 桂子	第1・3水	12	20	5月12日
MIX ビクス	櫛田 かほり	第1・3木	10	5	5月20日
楽しいカラオケA	上杉 京子	第1・3木	11	5	5月6日
実践ボールペン字	高荷 秀麗	第2・4木	12	5	5月13日
楽しいカラオケB	上杉 京子	第2・4木	10	3	3月13日
中高年のビューティー ストレッチ	ム ツ コ	第2・4金	12	3	5月14日
How To カラオケ	上杉 京子	第2・4金	18	5	5月14日
五軒歩こう会	講師なし	第4日	46	5	5月23日

②家庭教育関係

講座名	回数	開催日	内容	講師
わくわく学級	未定	未定	未定	未定
家庭教育学級	1	1月	家庭教育講演会	未定
家庭教育強化事業	未定	未定	未定	未定

③青少年関係

講座名	回数	開催日	内容	講師
子ども教室	1	未定	未定	未定
水戸郷土かるた 五軒地区大会	1	1月	水戸郷土かるた地区大会	

④女性教養関係

講座名	回数	開催日	内容	講師
五軒地区 女性教養講座	4	7月14日	開講式 いきいき出前講座 ～甦る水戸城～	水戸市 歴史文化財課職員
		9月29日	デコパージュ教室	山崎 由紀
		10月20日	源氏物語 女人絵巻 弐 ～情念の女人 六条御息所～	水戸市立博物館 職員
		11月24日	閉講式 移動学習	未定

⑤高齢者関係

講座名	回数	開催日	内容	講師
五軒いきいき大学	4	7月28日	開講式 歩行シミュレーターと講話 体験型交通安全教室	茨城県警察本部 交通総務課 茨城県水戸警察署 交通課
		10月13日	勾玉づくり	水戸市埋蔵文化 センター職員
		11月17日	レインボー体操 ～脳刺激と筋刺激体操～	磯崎 幹子
		2月2日	閉講式 移動学習	未定

⑥成人教育関係

講座名	回数	開催日	内容	講師
成人講座	1	未定	未定	未定

⑦市民センターまつり

講座名	回数	開催日	内容	講師
わいわい五軒文化祭	1	11月	作品展示・芸能発表	

【参考】関連事業

事業名	開催日	主管	備考
五軒地区サマーナイト コンサート&ふれあいまつり	7月17日	地区生涯学習部会	中止
五軒地区 市民スポーツ大会	6月13日	地区スポレク部会	中止
	10月10日		
水戸漫遊マラソン応援	10月31日	地区スポレク部会	
五軒地区年末クリーン作戦	12月11日	地区生活環境部会	
流しびな作り	2月	五軒女性会役員	
五軒香梅ひな流し	3月5日	地区生涯学習部会	

(4) その他

令和2年度みと文化交流プラザ使用状況報告書

令和3年3月末現在

室名区分		市民センター	社 教	市	県	その他	合 計
ホ ー ル	件数	51	1	30	3	33	118
	人数	428	50	1,200	211	1,554	3,443
和 室	件数	40	0	1	5	347	393
	人数	530	0	6	62	2,427	3,025
会 議 室	件数	68	61	92	48	2,145	2,414
	人数	741	680	1,140	464	18,070	21,095
調 理 室	件数	0	0	1	0	3	4
	人数	0	0	5	0	23	28
累 計	件数	159	62	124	56	2,528	2,929
	人数	1,699	730	2,351	737	22,074	27,591
館 外 主催事業	件数	0					0
	人数	0					0
館 外 共催事業	件数		7				7
	人数		39				39
累 計	件数	0	7				7
	人数	0	39				39
合 計	件数	159	69	124	56	2,528	2,936
	人数	1,699	769	2,351	737	22,074	27,630

利用人数累計

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	累計
館 内	49	0	1,991	3,774	2,001	2,414	3,894	4,223	3,222	919	1,689	3,415	27,591
館 外	0	12	11	5	0	0	0	0	0	0	6	5	39
合 計	49	12	2,002	3,779	2,001	2,414	3,894	4,223	3,222	919	1,695	3,420	27,630

利用人数経年変化

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2
合 計	35,906	89,299	88,635	23,043	77,964	75,052	75,425	77,368	63,961	27,630

※平成23年度：震災により市役所機能の一部が移転

(4階に男女平等参画課・泉町大工町周辺地区開発事務所, 5階, 6階に議会事務局)

※平成24年度・25年度：4階に男女平等参画課・泉町大工町周辺地区開発事務所

※平成26年度：6月～耐震補強工事により中央ビルにて業務

※平成27年度：工事終了により現在の場所にて業務再開

※令和2年3月2日～3月31日

令和2年4月3日～5月31日, 令和3年1月18日～2月7日 : 新型コロナウイルス感染症対策により利用制限